

水土里レポート 投稿様式

投稿月日	令和7年10月17日
タイトル	令和7年度中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会へ参加して
水土里レポーター名	水土里ネット福山 佐々田 愛

令和7年9月25日(木) 広島市の広島ガーデンパレスにおいて令和7年度中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会が開催されました。中国四国9県から水土里ネット女性理事をはじめ、水土里ネット女性の会など関係者約70名が参加しました。令和7年度は広島県が当番県となり、水土里ネットひろしま女性の会 猪垣ふみよ会長が中国四国水土里ネット女性の会の会長を兼務しています。

水土里ネット福山からは、小野田正弘代表副理事長、小川嘉彦副理事長、掛谷賢次副理事長と私、佐々田の4名が参加しました。

中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会は、新たに就任された理事に土地改良事業の法的根拠など基礎的な事項に関する研修を行うことで、土地改良区の体質強化にもつながる女性の理事登用の取り組みが定着することを目的に開催されました。

基調講演では全国土地改良事業団体連合会 室本隆司専務理事が「土地改良概論」「土地改良をとりまく情勢」「土地改良団体における男女共同参画の意義～女性の理事への登用～」について講演されました。

土地改良法、土地改良事業、土地改良区の業務と運営など基本的な土地改良区全般にわたるお話や賦課徴収方法など具体例も話されました。参加した理事から「今日の講演は多岐にわたり理事として何をするか勉強になった。」と感想をお聞きしました。

つぎに事例紹介で、農業委員会ウーマンネット広島 道下和子会長が「農業委員会の男女共同参画の取り組み」についてお話されました。

道下会長は、20年前広島県庄原市で女性初の農業委員となられ、現在は農業委員会ウーマンネット広島の会長全国農業委員会女性協議会会長へ就任しておられ、農業委員会ウーマンネット広島では、県内の農業委員会女性委員独自の研修会を開催して、委員活動に必要な地域の情報を共有し、市町農業委員会活動の充実につなげる活動を行うことや女性委員の登用促進要請を行っておられます。

女性農業委員の登用30%を目標に掲げておられ、その根拠となっている「組織の中で少数派の割合が3割を超えると組織の意思決定に影響力を持つことができる。」という「黄金の3割理論」が印象に残りました。



多くのご意見を聞けました！



パネルディスカッションでは中国四国農政局農村振興部 山田美紀部長 室本専務理事、道下会長、猪垣ふみよ会長が「土地改良における男女共同参画が進む環境づくり」をテーマに意見交換されました。

女性理事登用について、山田部長の話された他県の農協へ女性理事が登用された際に、これまでの生産者目線に生活者・消費者の目線が入ることによって今までにない取り組みに発展した事例が印象的でした。

参加された女性理事には他の組織の役員を兼務しておられる方が多く、農業委員と兼務しておられる理事が「それぞれの組織の役割が違うが人口の減少や農業従事者の高齢化など農業を取り巻く状況を見ると地域と一緒に農業委員、農協などと協力していかなくてはならない。」と話されました。



「農林水産業に関わる人が心を一つに！」という道下会長のお言葉が心に残りました！

会場に小さなお子さんを連れて参加された女性理事がおられ、道下会長が「赤ちゃんの声が聞こえるなんて素晴らしい会です。このお子さんはジェンダーレス、ボーダーレスが当たり前の教育を受けて育っています。次の世代に日本の農業を引き継ぐために老若男女、農林水産業に関わる人が心を一つにしていましょう。」と力強く挨拶され、盛大な拍手で意見交換会が閉会しました。

令和7年度中国四国ブロック水土里ネット女性理事意見交換会に参加させていただき、室本隆司専務理事の基調講演は土地改良区全般にわたるもので今後の業務運営の参考としたいと思いました。道下和子会長の事例紹介は、女性理事の先駆者としてのご苦勞や取り組みをお聞きし大変感銘をうけました。

また、県内外の土地改良区や土地改良事業団体連合会の理事や職員の方とも業務や運営について意見交換することができ、今後の水土里ネット福山の業務運営に活かしたいと思います。

水土里ネット福山は、21世紀土地改良区創造運動の一環として「水土里レポート」を投稿しております。